

回答

ご質問ありがとうございます。肺がんの患者さんは今回の COVID-19 に対して大きな不安を抱えてお過ごしのことと思います。がん治療中の患者さん、特に肺癌治療中の患者さんの重症化リスクはそれまで健康だった方と比べて高い可能性があります。これは中国からの報告に基づくものです。この報告のがん経験者は 18 名です。がん経験のない 1500 人以上との比較したデータですので、まだ確定的ではありません。一般的には、免疫抑制状態になるようながん治療において重症化のリスクがあると考えべきでしょう。重症化リスクは肺がん以外にも存在し（年齢や心血管疾患など）、重症化リスクが低くても（なくても）重症化する患者さんがいるのがこの病気の特徴です。

ご質問のアビガンや他の抗ウイルス薬も重症化する前に使用する方が効果が高い可能性が指摘されています。しかし、現時点で、アビガンが重症化を本当に抑制するかどうかはまだ明らかになっていません。アビガンを服用して治ったという方々の報道がありますが、アビガンが無効であった方の報道はありません。実際には無効の方もいらっしゃると思います。ですので、本当にアビガンが重症化を抑制するかどうかを調べる必要があります。

日本ではアビガンは軽症例を含めた観察研究が行われています。現在 1000 施設以上がこの研究に参加しているそうです。この研究に参加すれば（この研究に参加している施設限定になりますが）投与を受けることができます。先日の感染症学会でこの観察研究の中間報告が発表されましたが、軽症例でアビガンを投与しても 2 週間後に 10%が増悪（重症化）していたそうです。一般的に COVID-19 は 80%の方が無症状または軽症、20%が中等症以上、10%が重篤化と言われています。ですので、中等症以上を重症化と取れば 20%⇒10%に予防できることとなります。一方で、重篤化を重症化とれば 10%⇒10%で有効かどうかわからないこととなります。この疑問を解決するため、現在、特定臨床研究が進められています。PCR 陽性の軽症患者に早めに投与する方法と 1 週間様子を診てから投与する方法を比較する研究です（下記スライド参照）。

ご質問に正確に答えるとすれば、日本では観察研究や特定臨床研究に参加している施設に入院すれば、軽症あるいは無症状のうちから研究としてアビガンを服用できる可能性があります（もちろん同意書にサインしてからです）。いずれの場合も妊婦さんはアビガンを服用できません。

2020 年 4 月 30 日 北里大学 佐々木治一郎

COVID-19に対する効果が期待されている薬剤の例

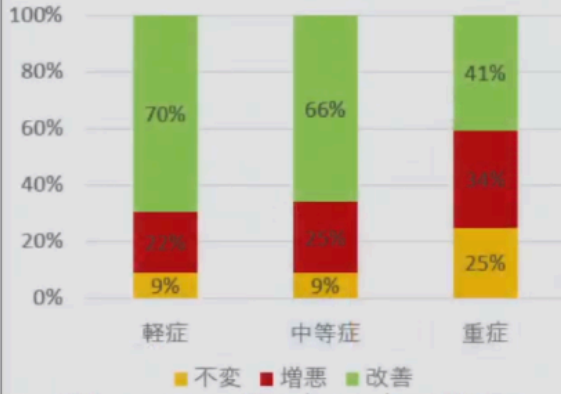
一般名	商品名	備考	文献の例
ロピナビル・リトナビル	カレトラ	抗HIV薬。SARSやMERSで効果期待された。	■ Thorax 2004; 59: 252-56 ■ Infect Chemother 2015, Sep 30: 212-22
ファビピラビル	アビガン	抗インフルエンザ薬。富士フィルム富山化学が開発。中国科学技術省が有効と発表。催奇形性。	■ Cell Res. 2020 Feb 4. doi: 10.1038/s41422-020-0282-0.
シクレソニド	オルベスコ	喘息の治療薬（吸入薬）。森島研究班、国立感染症研究所 松山州徳ら。	■ 松山州徳、他、MERS-CoVの増殖を抑制する既存薬の作用機序の解析。2019年12月2日 ■ Matsuyama S, et al. bioRxiv preprint doi: https://doi.org/10.1101/2020.03.11.587016
ナファモスタット、カモスタット	フサン、フオイバン	急性肺炎等に使用される薬。東京大学医学研究所。	■ Cell. 2020. DOI https://doi.org/10.1016/j.cell.1.2020.02.062 ■ 井上純一郎、他、新型コロナウイルスの感染増殖が抑制される国内既存薬剤の同定。
レムデシビル	国内承認なし	エボラ出血熱用に開発された。中国武漢、米国で試用。	■ Cell Res. 2020 Feb 4. doi: 10.1038/s41422-020-0282-0. ■ N Engl J Med. 2020 Jan 31. doi: 10.1056/NEJMoa2001191
クロロキン	(ヒドロキシクロロキン)プラケニル	米国FDAが新型コロナへの拡大使用を承認。中国のガイドラインにも採用。眼障害などあり。	■ Cell Res. 2020 Feb 4. doi: 10.1038/s41422-020-0282-0.

第 94 回日本感染症学会学術講演会 特別シンポジウム;川名 明彦 先生（防衛医科大学校）講演スライドより

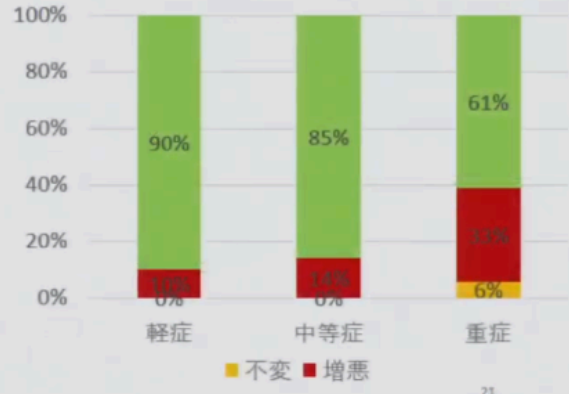
ファビピラビル観察研究

軽症:酸素投与なし
 中等症:酸素投与ありかつ機械換気なしor不明
 重症:機械換気あり

投与開始7日目の評価



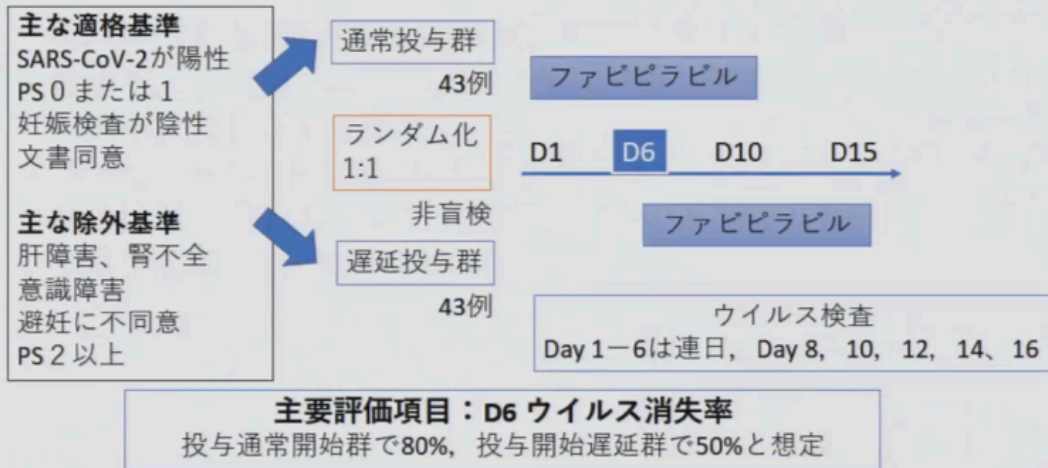
投与開始14日目の評価



AMED新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 研究開発課題

第 94 回日本感染症学会学術講演会 特別シンポジウム; 土井 洋平 先生 (藤田医科大学) 講演スライドより

ファビピラビル特定臨床研究



AMED新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 研究開発課題

第 94 回日本感染症学会学術講演会 特別シンポジウム; 土井 洋平 先生 (藤田医科大学) 講演スライドより